

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	B型肝炎の教育普及のためのDVD動画の教育評価				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	操 華子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	田中 範佳
		所属・職名	B型肝炎訴訟弁護団	氏名	西田 敦
		所属・職名	B型肝炎訴訟弁護団	氏名	勝俣 彰仁
		所属・職名	B型肝炎訴訟弁護団	氏名	美和 繁男
		所属・職名	B型肝炎訴訟弁護団	氏名	石川 茂吏
	発表者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	操 華子

講演題目	B型肝炎の教育普及のための「いのちの教育」の教育評価
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【背景・目的】全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団と厚生労働大臣の定期協議（平成28年7月15日）において、医療関係職種の養成課程における感染拡大防止（再発防止）教育及び偏見差別防止教育の充実等の要望がなされた。平成28年度厚生労働科学特別研究（操班）では、全国の都道府県知事指定の看護師、准看護師、歯科衛生士、臨床検査技師養成課程におけるB型肝炎等に対する偏見差別防止のための教育や歴史的事実について取り扱っていない養成課程が多く存在することが明らかとなった。平成30年11月の文部科学省・厚生労働省の事務連絡においても、医療関係職種の養成課程におけるB型肝炎に関する教育の推進に関する通達がなされている。この通達の中に、教育方法の工夫として全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団が2015年から開始したB型肝炎患者・家族の声を通して考える「いのちの教育」を取り込むことが含まれている。2019年度の本研究費ならびにオレンジ基金からの助成を受け、「いのちの教育」に代わる教材としてDVD動画「B型肝炎教育普及のための動画：再発予防とよりよい医療のために～患者・家族の声を通して～」を作成した。2020年1月末からの新型コロナ流行のため、対面による「いのちの教育」は実施困難となり、本DVD動画が各養成課程で使用された。2021年2月、本DVDによる授業を本大学でも実施予定であったが、オンラインによるリアルタイム講義に変更となった。そこで、本授業を受講した学生を対象に、教育評価を実施し、動画ならびに授業のさらなる刷新、充実を検討した。</p> <p>【成果】DVD動画の教育評価用に作成した項目のうち、B型肝炎患者の身体的問題、精神的問題、経済的問題についての理解、医療における安全とB型肝炎患者の人権尊重の重要性の理解の5項目を用いて、リアルタイム講義の教育評価を実施した。5項目の内容を理解できる授業であったかを問うた結果、経済的問題以外は「あてはまる、非常にあてはまる」という回答が100%であった。経済的問題については、具体的に提示しなかったため、理解しづらい学生もいたと考える。</p> <p>【今後の展望】集団予防接種における注射器等の連続使用によるB型肝炎ウイルスの感染拡大は、昭和23年から63年まで続いた。この事実について、現職の医療従事者でも知らない者は多い。歴史的事実をふまえた感染拡大防止ならびに偏見差別防止の啓発教育を刷新しつつ継続していくことは、将来医療に従事する学生たちが同じ過ちを犯さないためにも意義あることである。</p>